

レポートは **LATEX** で書こう！

使い方初級編

● L^AT_EX (テフ) は何？ L^AT_EX のいいところは？

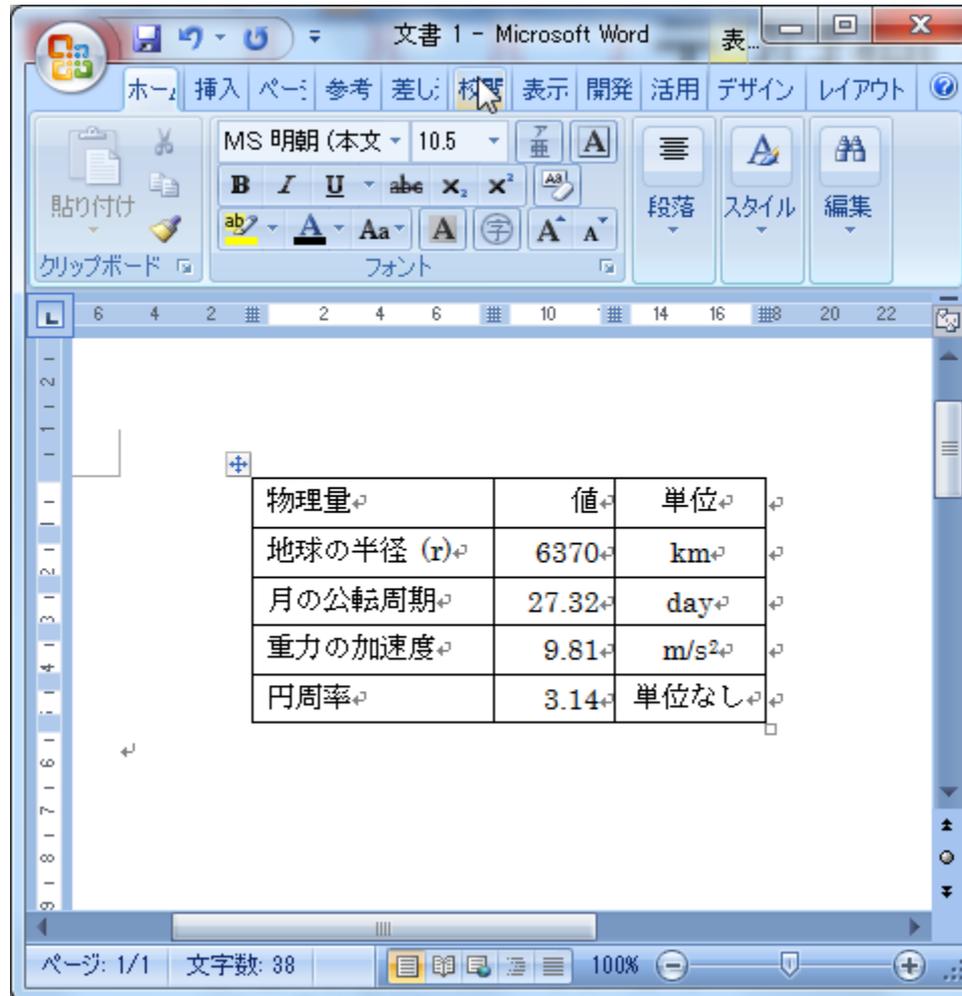
● インストール

● 簡単なレポート

● 参考資料

一般の文書編集ソフト

MS Word



入力されたものはそのまま出力される

L^AT_EXはどう違う？ いいところは何？

「○○.tex」ファイルを編集

WinShell - [report.tex]

```
17 円周率は以下の表で与えられる。  
18 %\begin{table}[tblp]  
19 %\begin{center}  
20 %\begin{tabular}{|r|c|}  
21 %\hline  
22 物理量 & 値 & 単位  
23 %\hline  
24 地球の半径 (r) & 6370 & km  
25 %\hline  
26 月の公転周期 (T) & 27.32 & day  
27 %\hline  
28 重力加速度 g & 9.81 & m/s2  
29 %\hline  
30 円周率 & 3.14 & 単位なし  
31 %\hline  
32 %\end{tabular}  
33 %\end{center}  
34 %\end{table}  
35 これらの値を使用して地球から月までの距離を求めよ。  
36
```

出力

report - 0 個のエラー, 0 個の警告, 0 個のオーバーフル, 0 個のアンダーフル

出力 ログ 検索結果 タスク

操作を受け付けています 行 10, 桁 13

このような文字
を入力すると…

「○○.dvi」ファイルを閲覧

¥¥133.1.226.135¥zen-busho¥本館¥情報ナビゲート班¥...

File Jump Search Display View Presentation Paper Option Help

物理量	値	単位
地球の半径 (r)	6370	km
月の公転周期 (T)	27.32	day
重力加速度 g	9.81	m/s ²
円周率	3.14	単位なし

このように表が見える！

cmr5.300(1500):
Searched C:\w32tex\share\texmf\fonts\l3\fm\cmr!
Searched C:\w32tex\share\texmf-local\fonts\l3\fi

Page: 2/3, number | dpi: x=300/3, y: Gamma = 800/ | Size: x = 21.00cm,

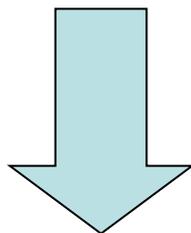
いいところは →

美

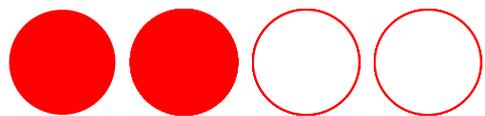
- きちんとしたレイアウト
- 数式が美しい

多くの学術文書(卒論、修論、学科論文…)は LATEX で書かれる

皆さんは卒論、修論を LATEX で書くことになるかも…



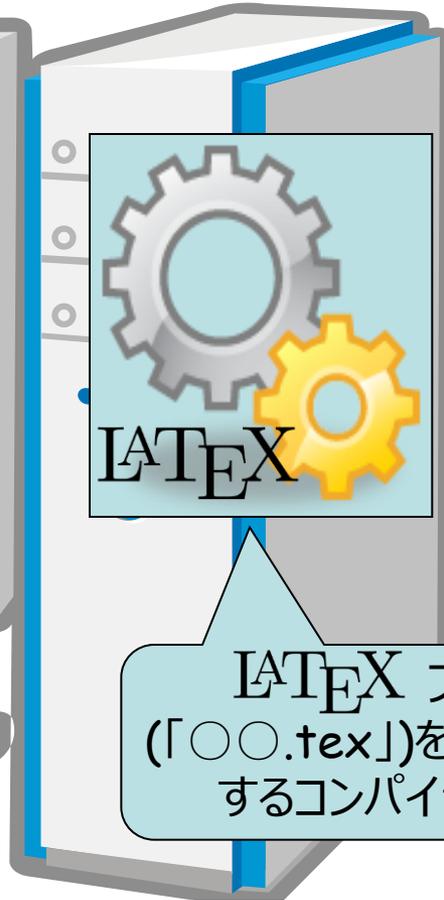
レポートは **LATEX** で書こう！



インストール

(2) エディタ (Winshell) のインストール (1) L^AT_EX 環境のインストール

L^AT_EX ファイル
 (「○○.tex」) 編集
 時使うソフト



L^AT_EX ファイル
 (「○○.tex」) を文書に
 するコンパイラー

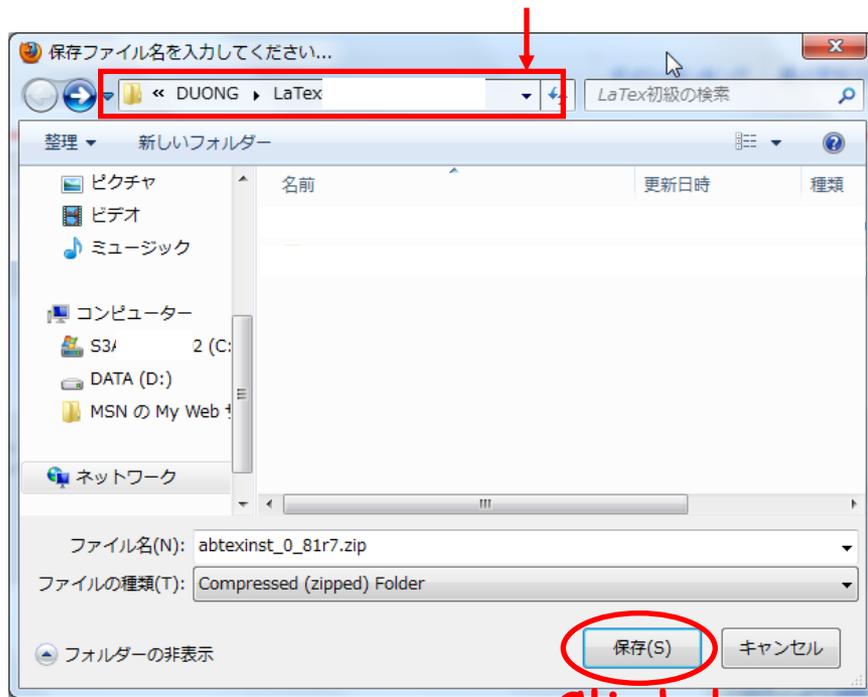
・想定OS: Windows XP/VISTA/7

(1) L^AT_EX環境のインストール

- Step1 : ここ↓にアクセスしてインストーラーをダウンロードして下さい
http://www.math.sci.hokudai.ac.jp/~abenori/soft/bin/abtexinst_0_81r7.zip

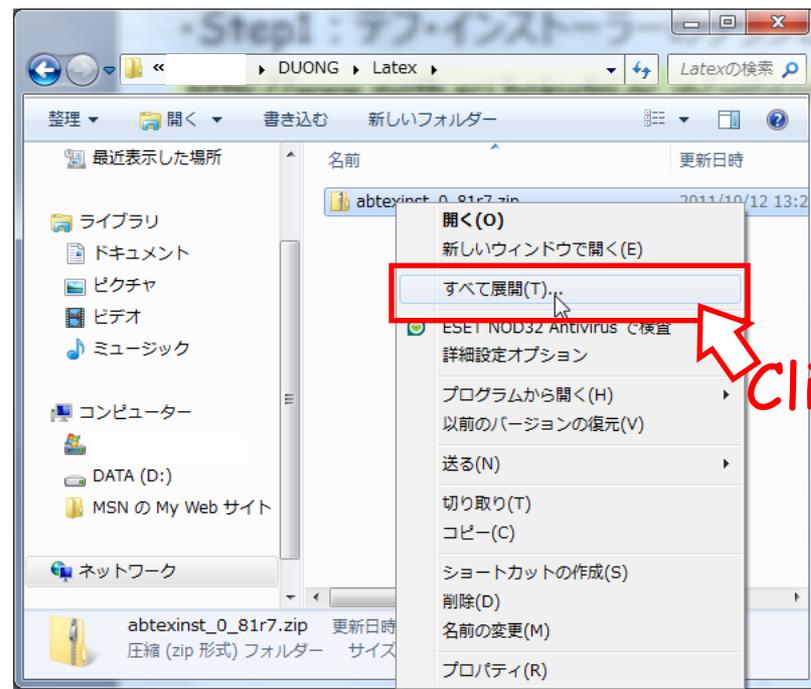
ダウンロードしたインストーラーを適切な場所に保存し、解凍して下さい

適切な場所に保存



Click!

解凍

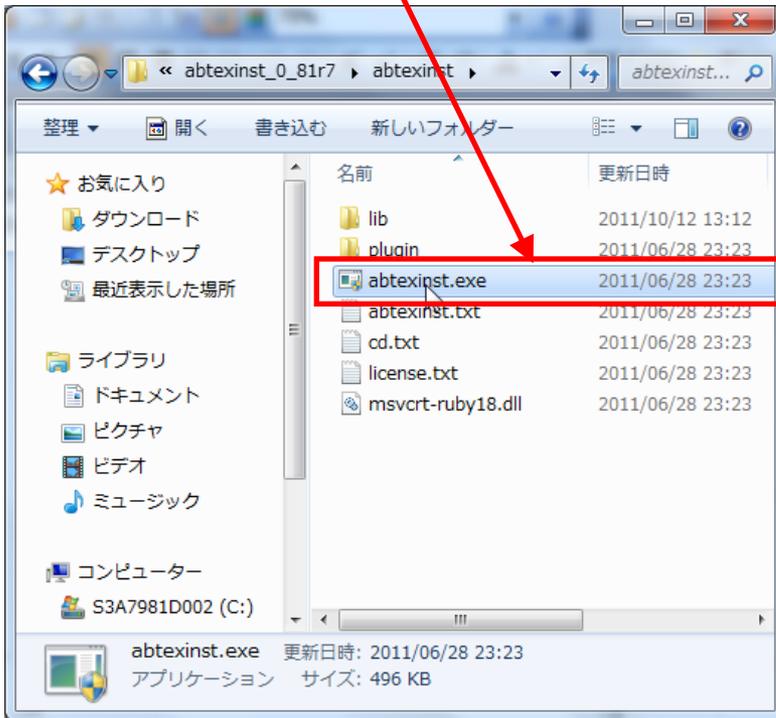


Click!

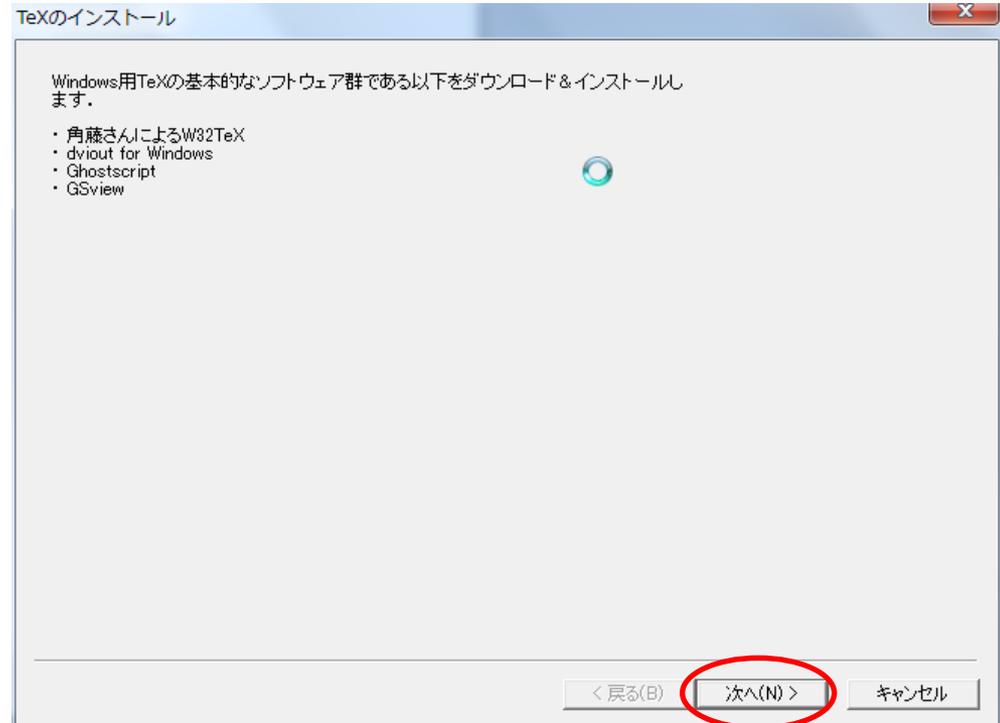
(1) L^AT_EX環境のインストール

・Step2 : インストール

①「abtexinst.exe」のファイルに
Double Click!



②「次へ(N)>」に Click!



Click!

(1) L^AT_EX環境のインストール

③また、「次へ(N)>」に Click!

TeXのインストール

W32TeXのインストール設定を行います。

ファイル保存場所
D:\w32tex\download 参照

インストール先
C:\w32tex\ 参照

※ 保存先、インストール先には全角文字やスペースの入ったフォルダ名は使用出来ません。

URL
http://www.ring.gr.jp/pub/text/TeX/ptex-win32/current/
 一覧以外を使う(↓)に

高度な設定

ネットワークを使わない。(ローカルのファイルからインストールします。)
 ダウンロードをキャッシュから読み込まないようにする。

Proxy (HTTPのみ) 空欄ならシステム設定を使います。 Port

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

Click!

④そしてまた、「次へ(N)>」に Click!

dviout, Ghostscript, GSviewのインストール設定

dviout, Ghostscript, GSviewのインストール設定を行います。

dvioutのURL
ftp://akagi.ms.u-tokyo.ac.jp/pub/TeX/dviout/current/
 一覧以外を使う(↓)に

GhostscriptのURL
http://www.ring.gr.jp/pub/text/TeX/ptex-win32/gs/
 一覧以外を使う(↓)に

GSviewのURL
http://www.ring.gr.jp/pub/text/CTAN/support/ghostscript/ghostgum/
 一覧以外を使う(↓)に

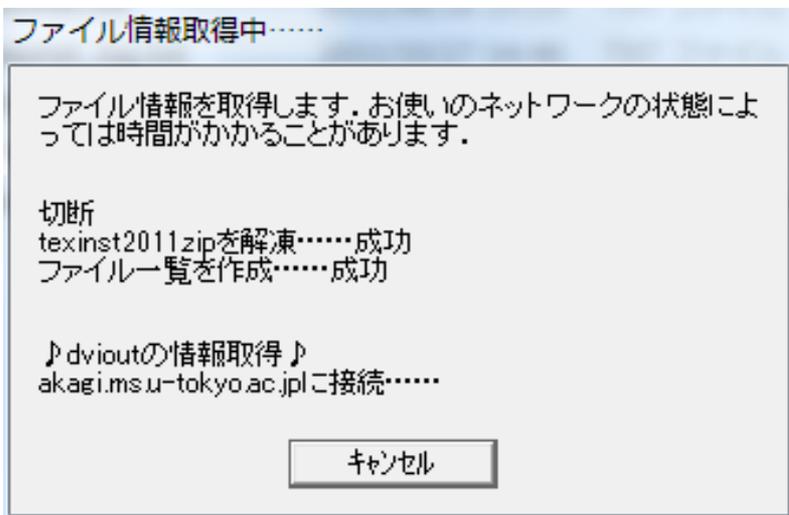
※ 保存先, proxy, portの設定はTeXのものを使います。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

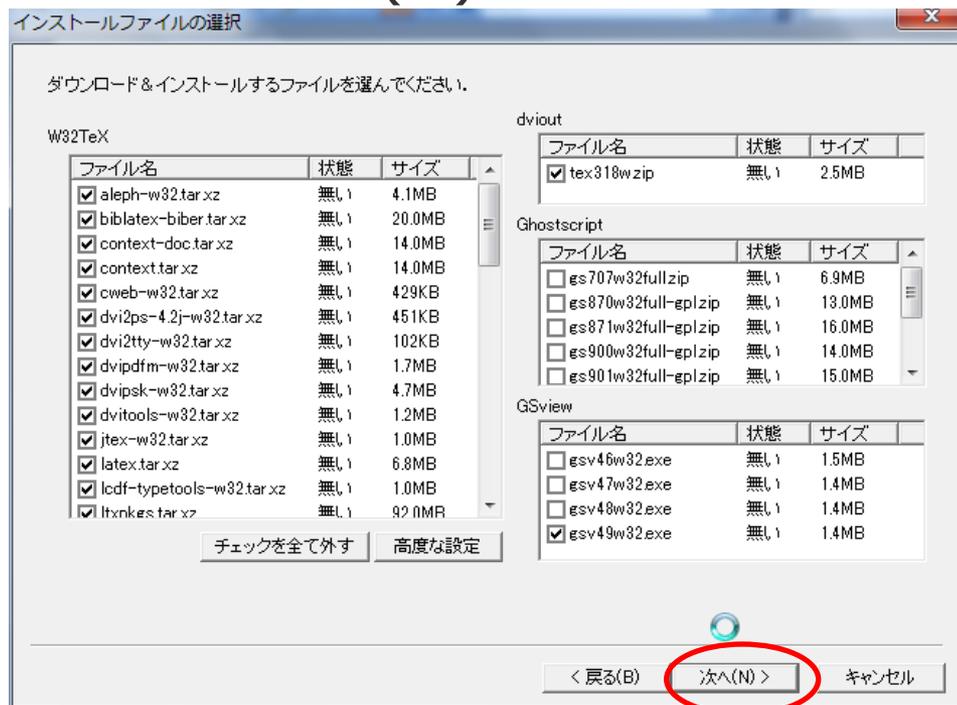
Click!

(1) L^AT_EX環境のインストール

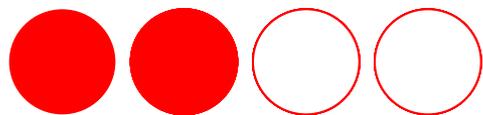
⑤しばらくこのウィンドウが出てますが**何もしないでください**



⑥「次へ(N)>」に Click!

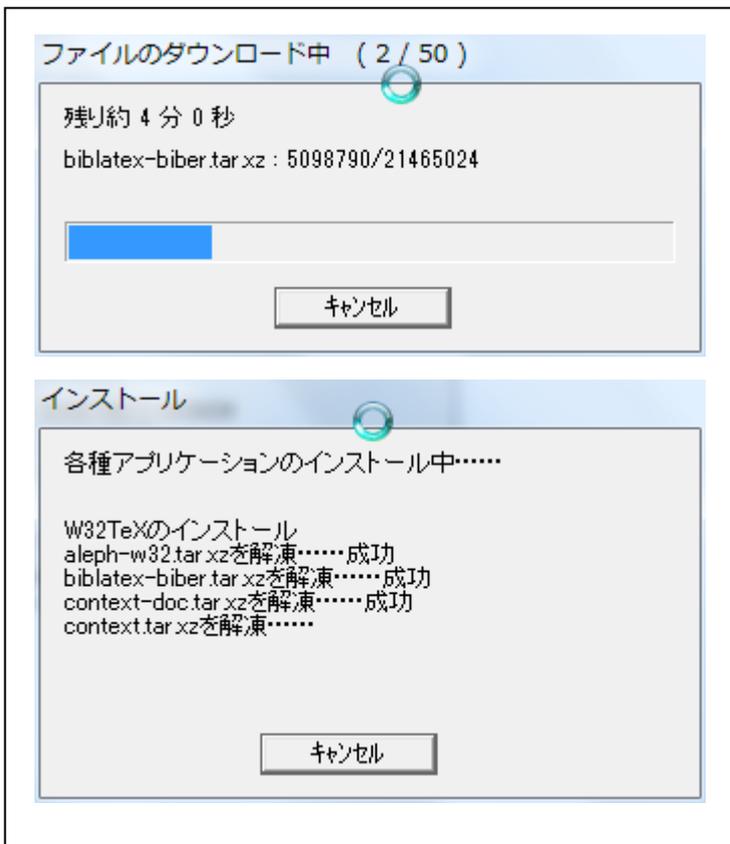


Click!

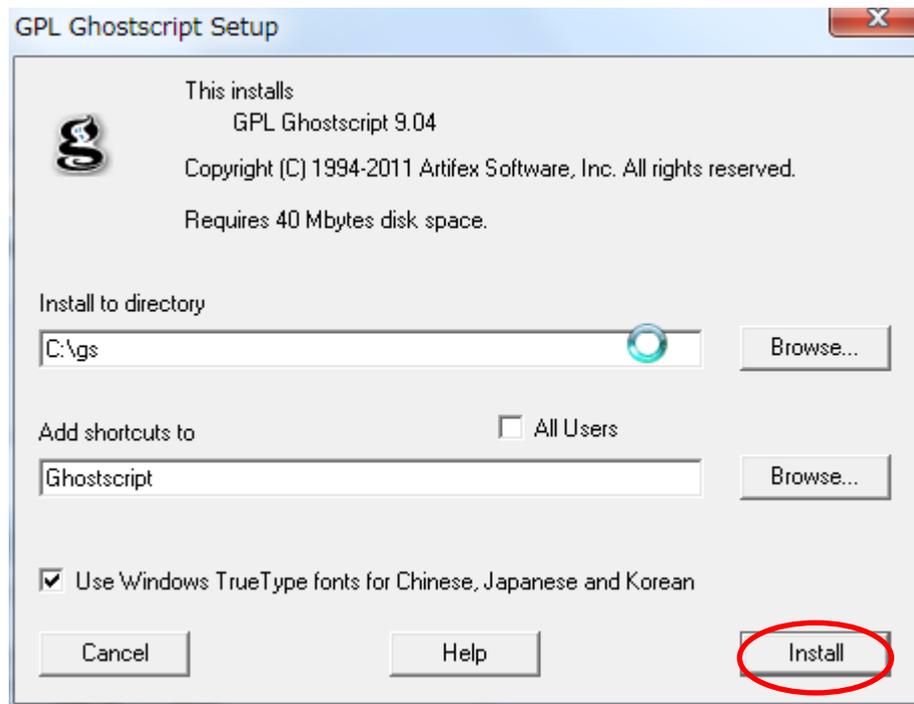


(1) L^AT_EX環境のインストール

⑦しばらくこれらのウィンドウズが
出ますが**何もしないでください**



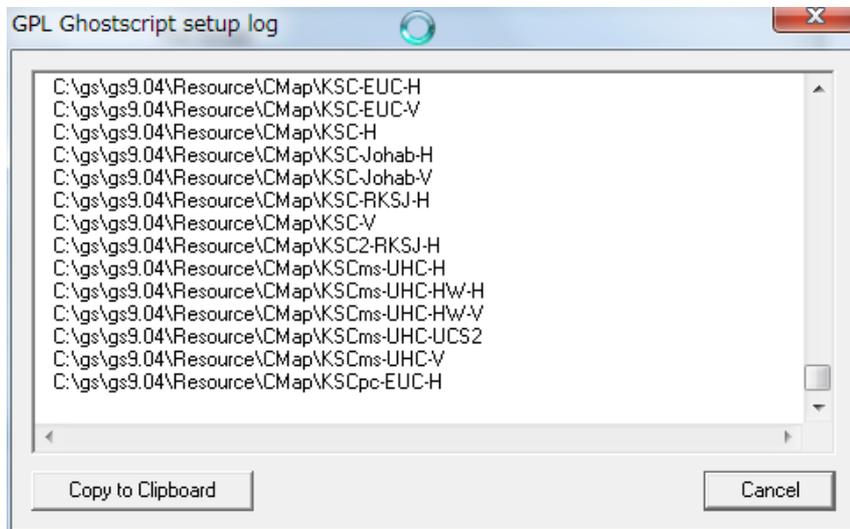
⑧「Install」にClick



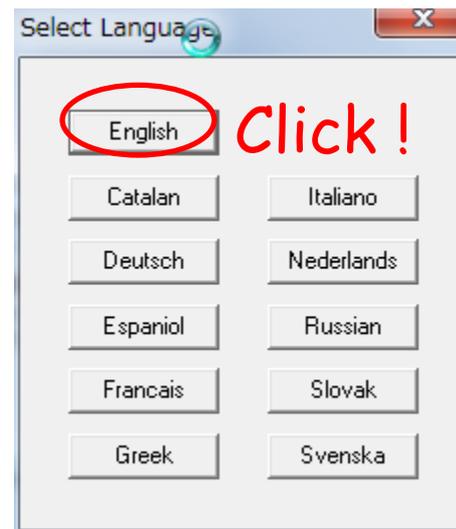
Click!

(1) L^AT_EX環境のインストール

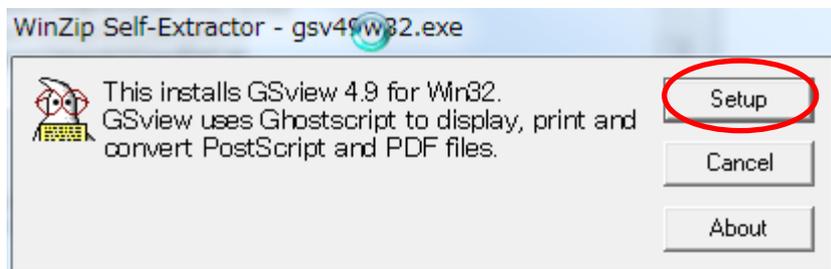
⑨しばらくこのウィンドウが出ますが
何もしないでください

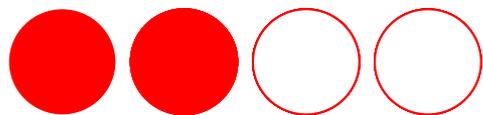


⑩「English」にClick
(他の言語でもOK)



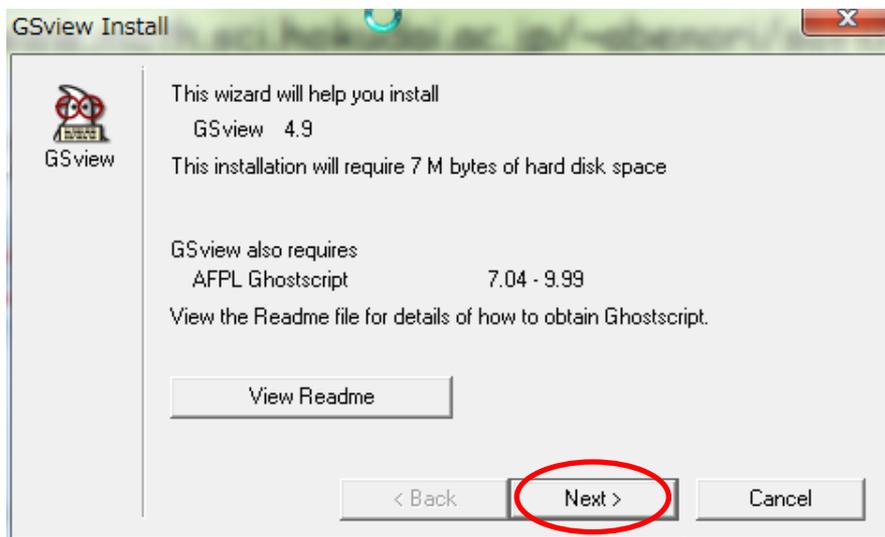
⑪「Setup」にClick





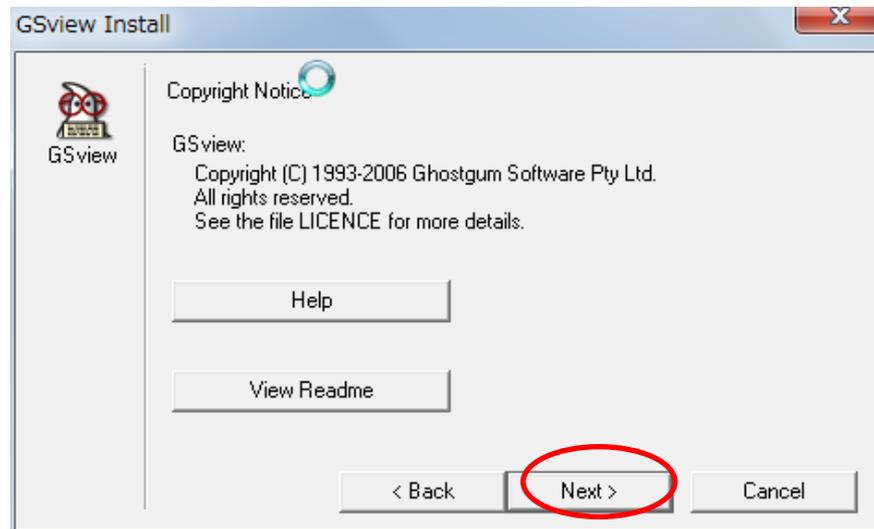
(1) L^AT_EX環境のインストール

⑫「Next>」にClick



Click!

⑬また、「Next>」にClick

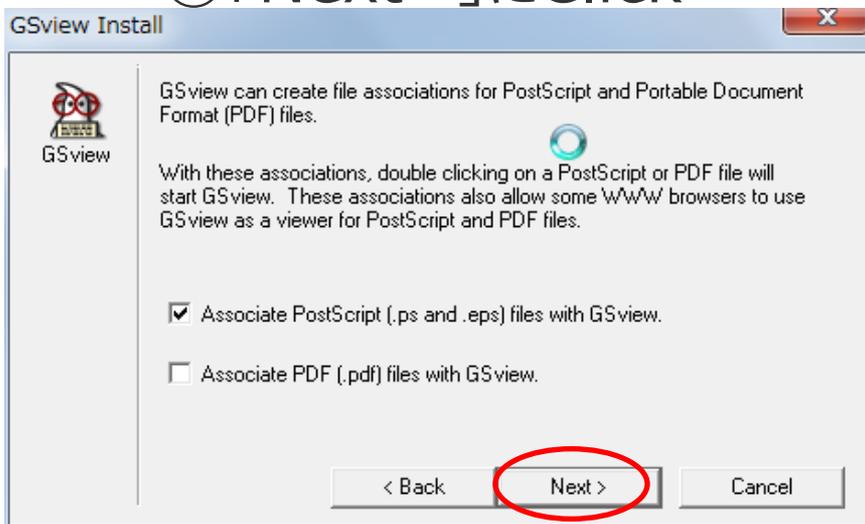


Click!

注：⑫、⑬、⑭、⑮は同じように見えるが違います

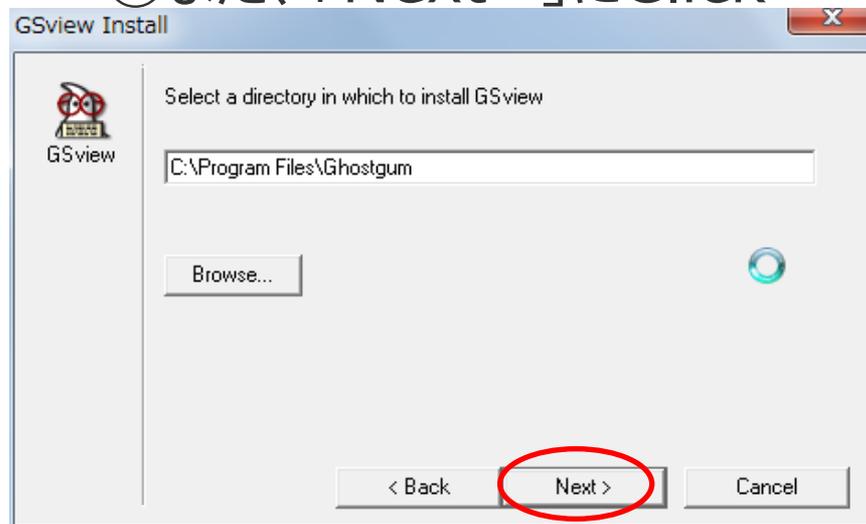
(1) L^AT_EX環境のインストール

⑭「Next>」にClick



Click !

⑮また、「Next>」にClick

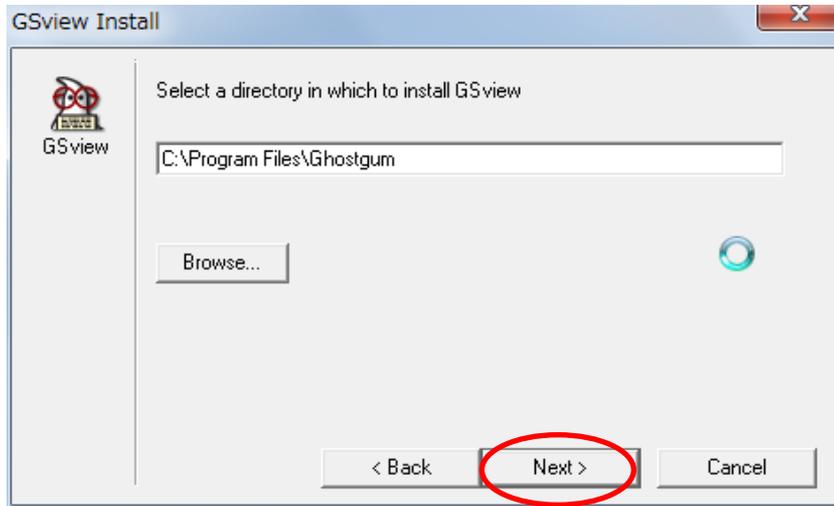


Click !

注：⑫、⑬、⑭、⑮は同じように見えるが違います

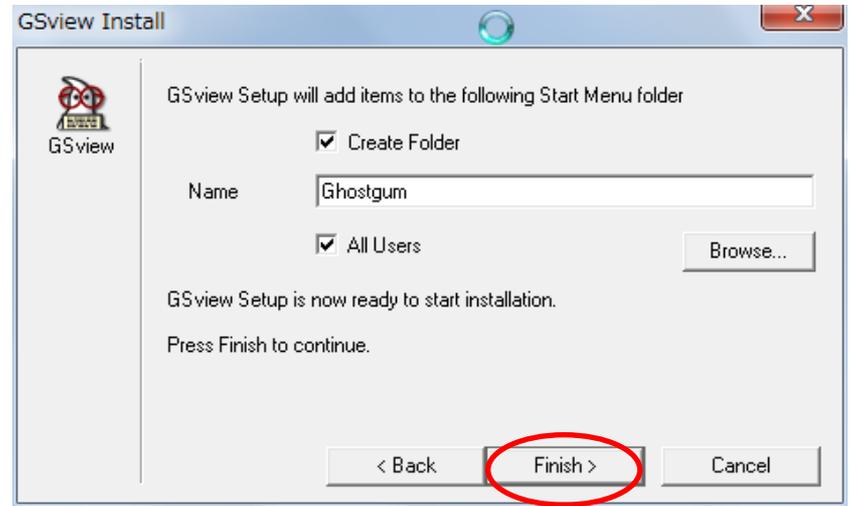
(1) L^AT_EX環境のインストール

⑩「Next >」にClick



Click !

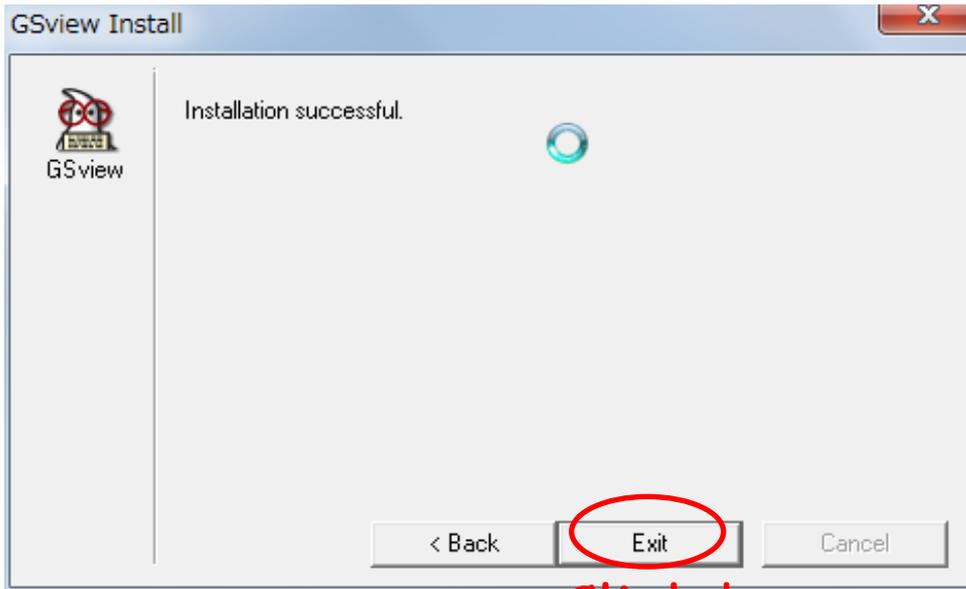
⑪「Finish >」にClick



Click !

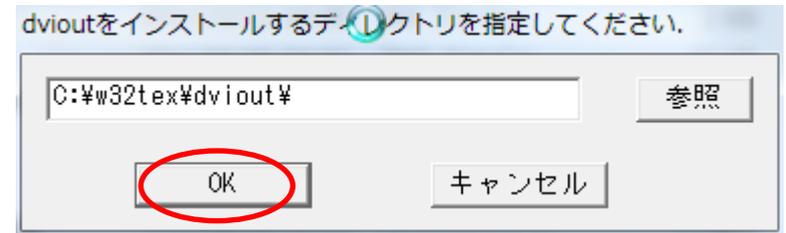
(1) L^AT_EX環境のインストール

⑱ 「Exit」にClick



Click!

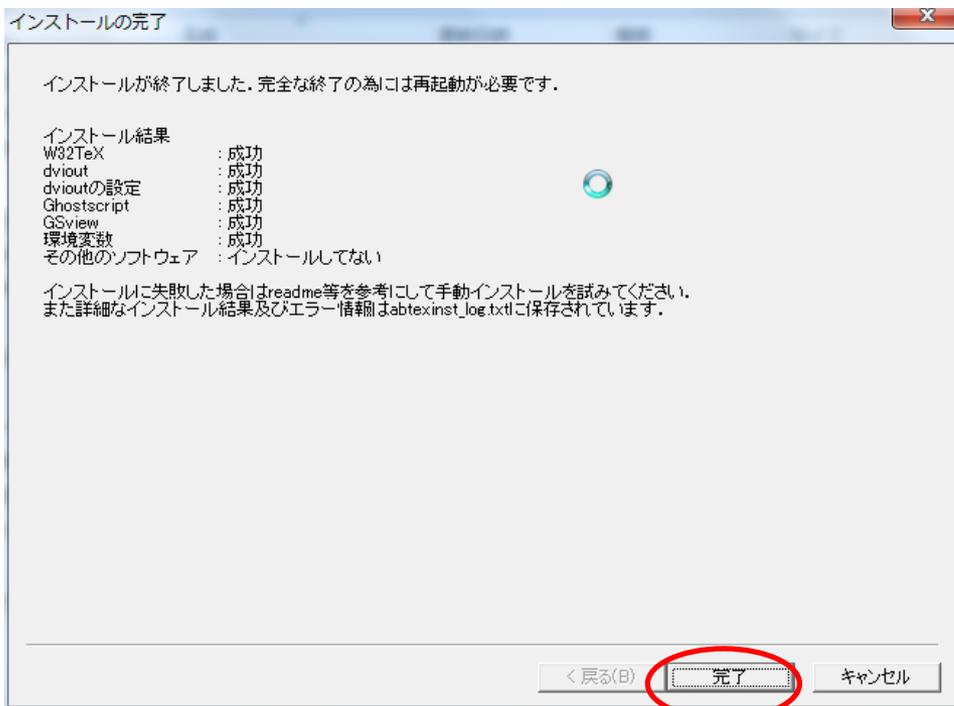
⑲ 「OK」にClick



Click!

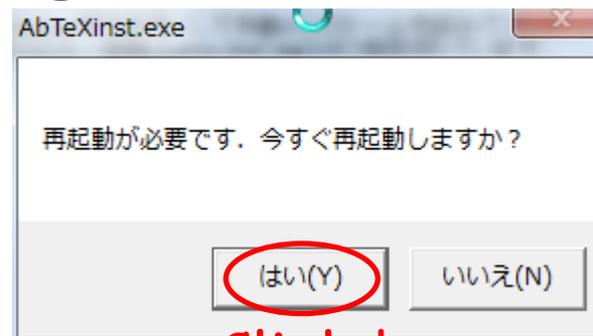
(1) L^AT_EX 環境のインストール

⑳ 「完了」にClick



Click !

㉑ 「はい(Y)」にClick



Click !

これで L^AT_EX 環境のインストールは完了

(2)エディタ(Winshell)のインストール

- ・Step1 : ここ↓にアクセスしてWinshellをダウンロードして下さい

http://www.winshell.org/modules/ws_download/

WinShell for LaTeX

download

WinShell332.exe / WinShell332Portable.zip

Release Version » back to top

The latest release is WinShell 3.32
File version: 3.3.2.4 - upload: 2011-04-10 - 4.00MB(exe) - 4.02MB(zip)
It includes a short LaTeX-Help and an US English dictionary.

Self-installing exe file: WinShell332.exe

OR

Zip archive: WinShell332Portable.zip

Fixes and improvements to version 3.30 are:

- Update to Scintilla 2.25
- Update to Hunspell 1.3.2
- Improved Table Of Content and Log File parser
- Improved BibTeX Project Window: toggle author/label view, show all entries
- New feature: Autocompletion for LaTeX commands and BibTeX labels
- New feature: Update checker
- New feature: Split/join paragraph
- New option: Reload open files at startup
- New option: BibTeX front-end: disable/enable
- New language: Serbian

Beta Version » back to top

Login

Username:
Password:

User Login
Lost Password?
Register now!

Search

Advanced Search

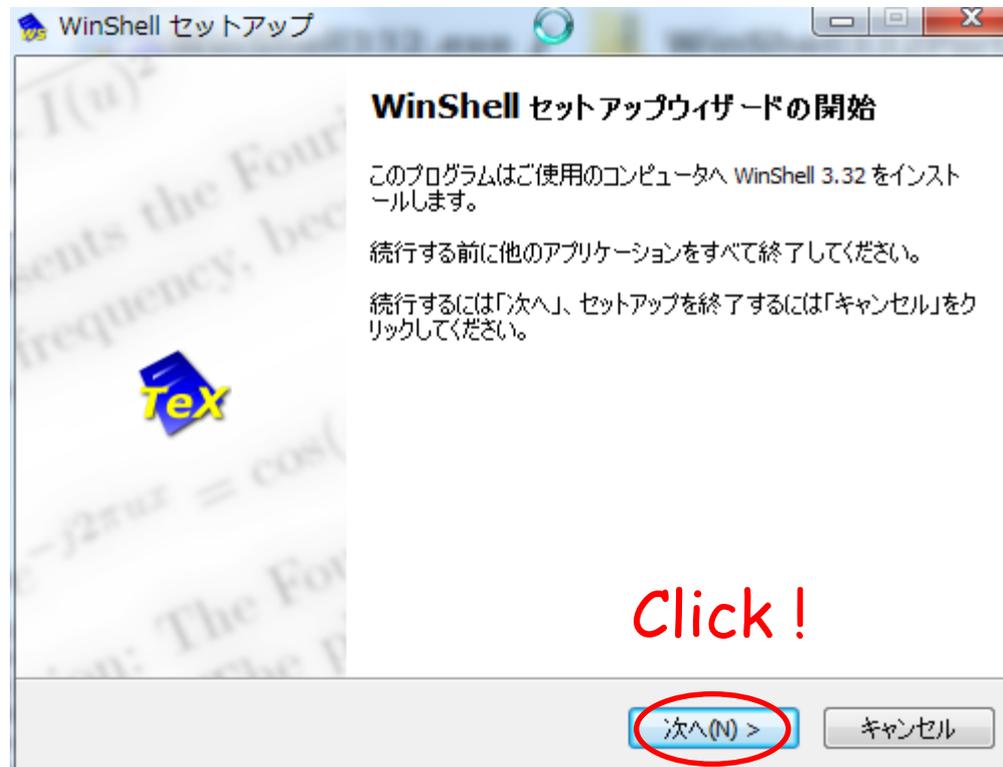
➡ 「WinShell332.exe」のファイルを適切な場所に保存して下さい

●●○○ (2)エディタ(Winshell)のインストール

・Step2 : Winshellのインストール

①「WinShell332.exe」のファイルを Double Click !

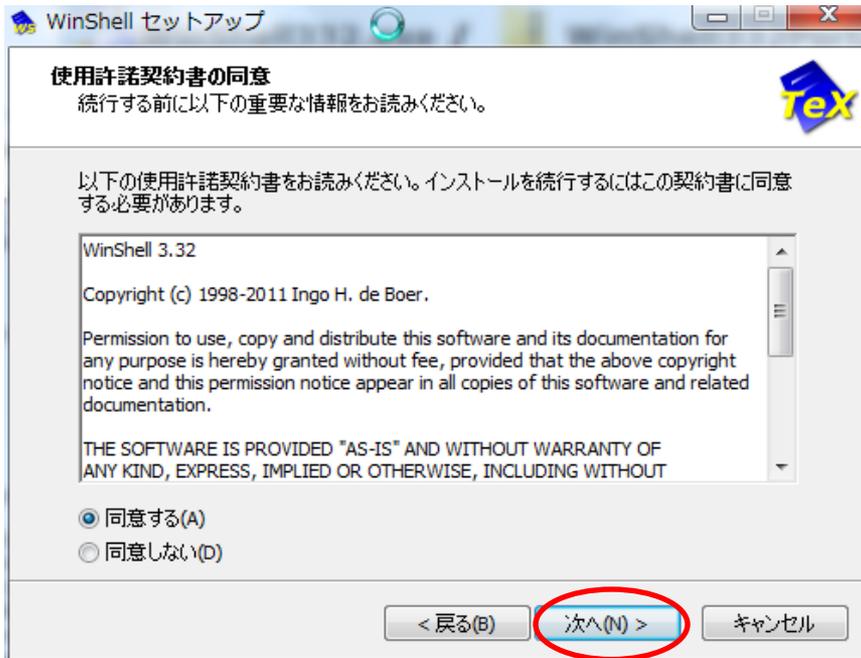
②「次へ(N)>」に Click !



●●○○ (2)エディタ(Winshell)のインストール

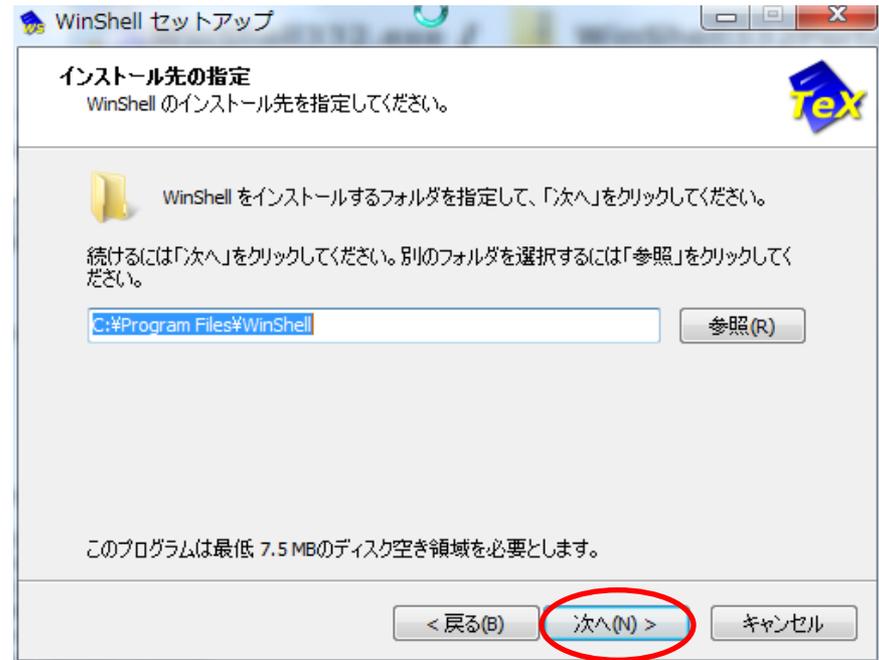
・Step2 : Winshellのインストール

③また、「次へ(N)>」に Click !



Click !

④「次へ(N)>」に Click !

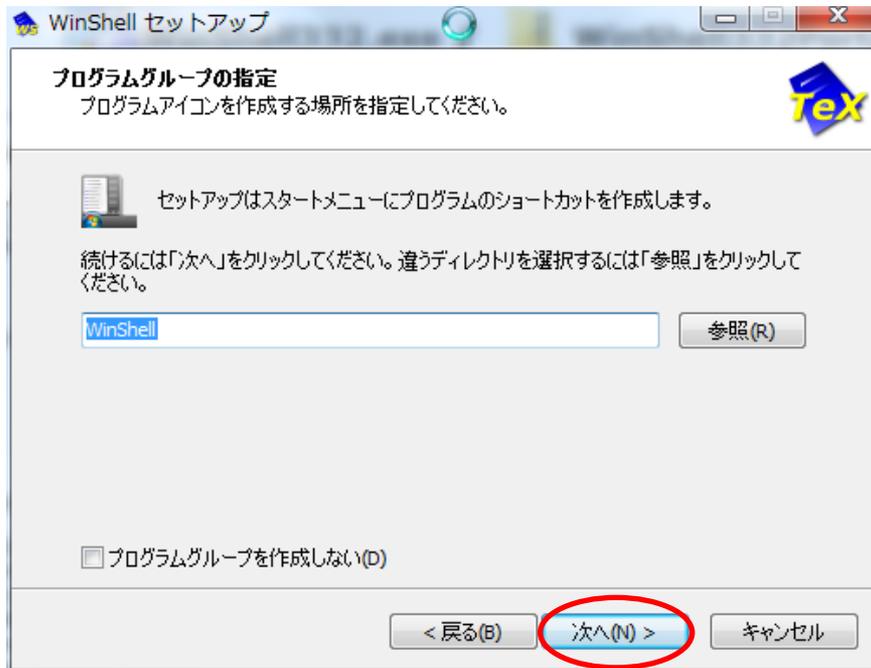


Click !

●●○○ (2)エディタ(Winshell)のインストール

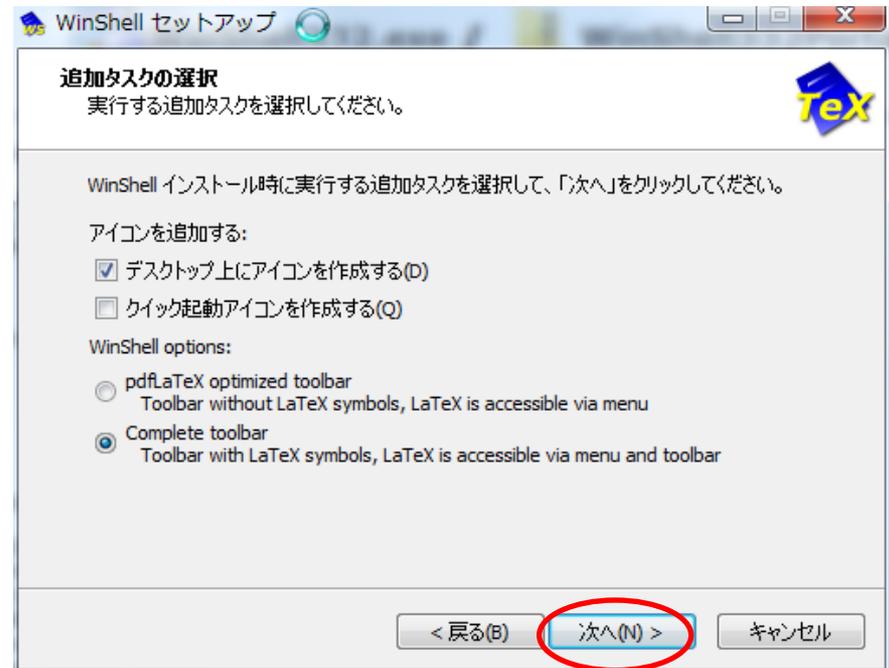
・Step2 : Winshellのインストール

⑤また、「次へ(N)>」に Click !



Click !

⑥「次へ(N)>」に Click !

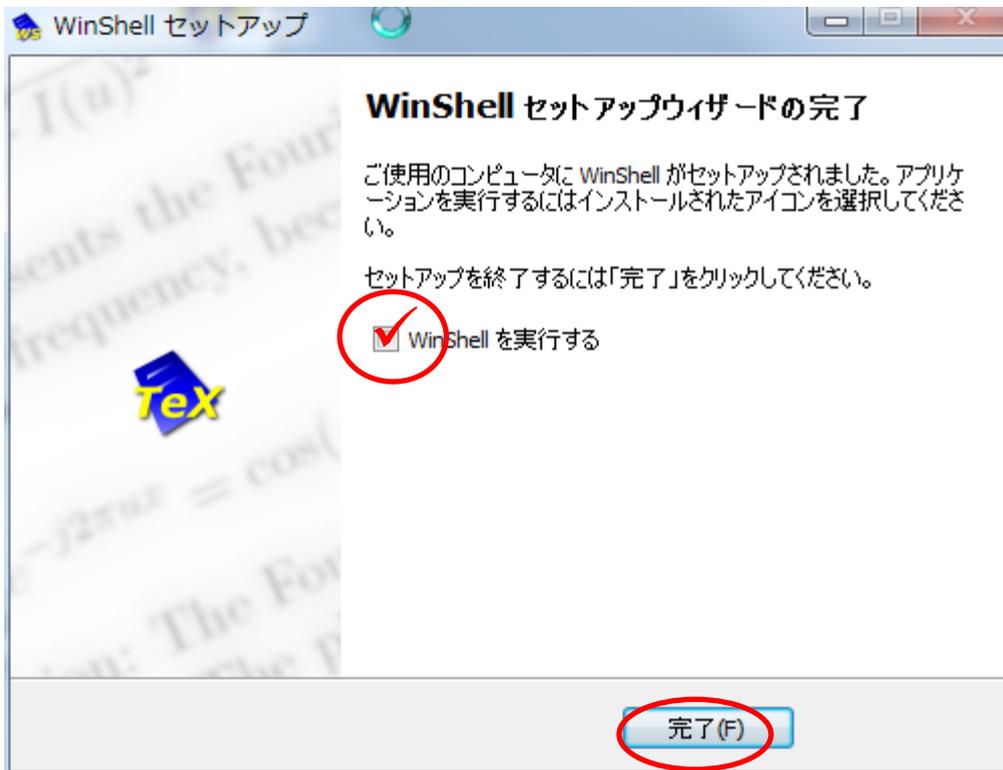


Click !

●●○○ (2)エディタ(Winshell)のインストール

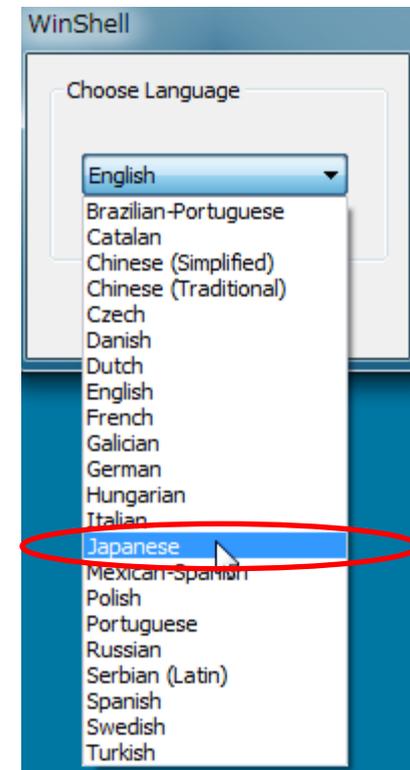
・Step2 : Winshellのインストール

⑦「Winshellを実行する」にチェックを入れ、「完了」にClick



Click!

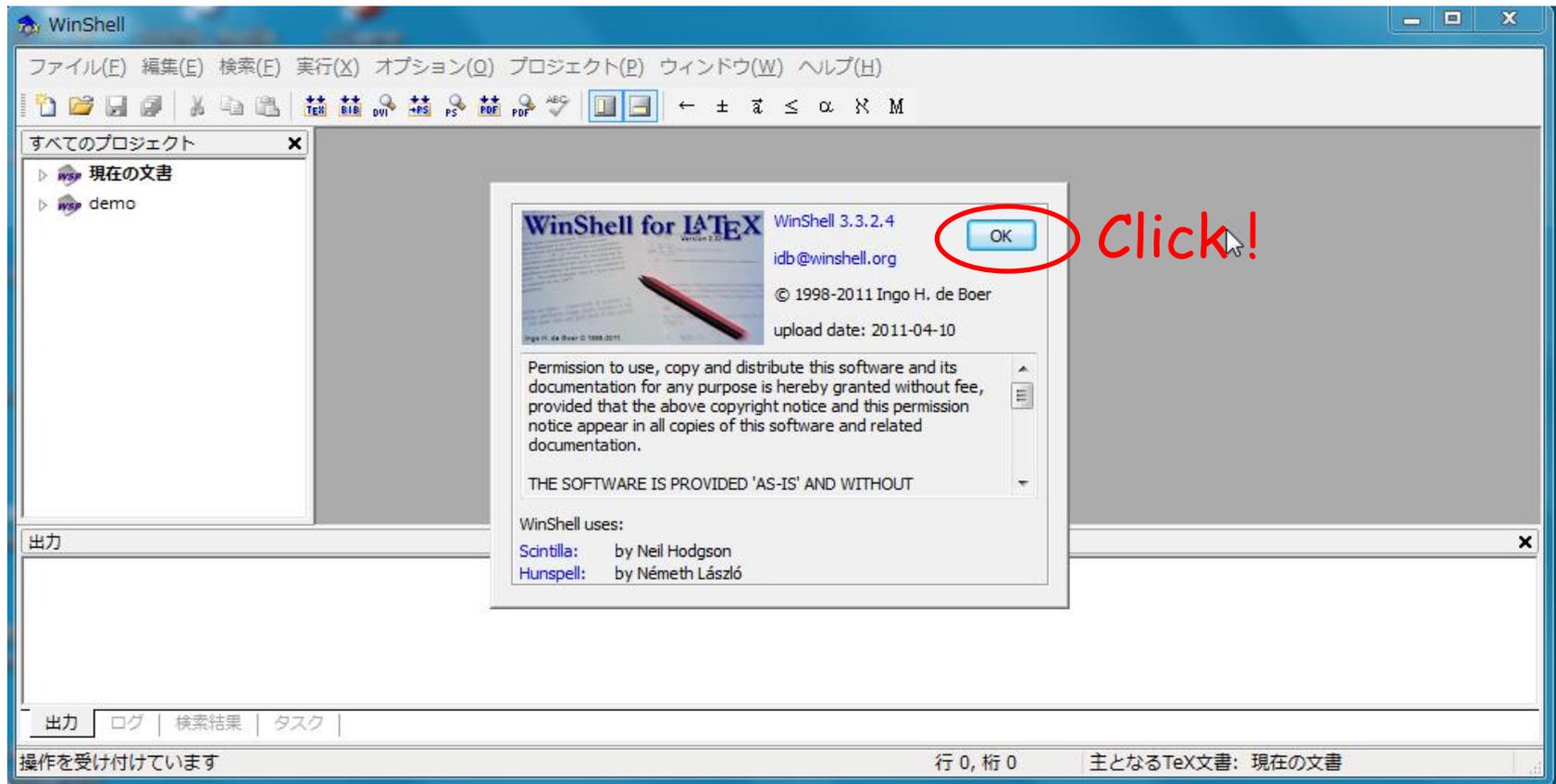
⑧ Winshellの表示言語を「Japanese」に選択



●●○○ (2)エディタ(Winshell)のインストール

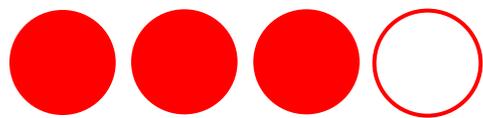
- Step2 : Winshellのインストール

WinShell が立ち上がります...

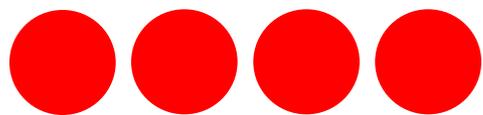


●●○○ (2)エディタ(Winshell)のインストール

- ・Step3 : Winshellの設定



簡単なレポート



參考資料